Simplex
Asset Management

平成25年4月期　中間決算短信（平成24年4月4日～平成24年10月3日）

平成24年11月8日

上場取引所　　東証

ファンド名	TOPIXブル2倍上場投信	
コード番号	（1568）	
連動対象指標	TOPIXレバレッジ（2倍）指数	
主要投資資産	公社債	
売買単位	10口	
管理会社	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社	URL　http://www.simplexasset.com/
代表者名	代表取締役社長　水嶋　浩雅	
問合せ先責任者	業務本部　山口　節一	TEL　(03)-5208-5211

半期報告書提出予定日　　平成24年12月28日

Ⅰ　ファンドの運用状況

1．平成25年4月中間期の運用状況（平成24年4月4日～平成24年10月3日）

（1）資産内訳　　（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産（負債控除後）		合　計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成24年10月中間期	2,938	(61.4)	1,847	(38.6)	4,786	(100.0)

（2）設定・解約実績

	前計算期間末発行済口数（①）	設定口数（②）	解約口数（③）	当中間計算期間末発行済口数（①+②-③）
	千口	千口	千口	千口
平成24年10月中間期	―	770	140	630

（3）基準価額

	総資産（①）	負債（②）	純資産（③（①-②））	10口当たり基準価額（（③／当中間計算期間末（前計算期間末）発行済口数）×10）
	百万円	百万円	百万円	円
平成24年10月中間期	4,821	35	4,786	75,970

2．会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　無
② ①以外の変更　　無

Ⅱ【中間財務諸表等】

ＴＯＰＩＸブル２倍上場投信

(1)【中間貸借対照表】

（単位：円）

		当中間計算期間末 (平成24年10月3日現在)
区分	注記番号	金額
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		1,643,701,126
国債証券		2,938,513,490
派生商品評価勘定		48,323,440
未収利息		2,878
差入委託証拠金		191,030,000
流動資産合計		4,821,570,934
資産合計		4,821,570,934
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		16,231,400
未払受託者報酬		989,980
未払委託者報酬		13,859,677
その他未払費用		4,304,731
流動負債合計		35,385,788
負債合計		35,385,788
純資産の部		
元本等		
元本	※1 ※2	6,300,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	※3	△1,513,814,854
（分配準備積立金）		－
元本等合計		4,786,185,146
純資産合計		4,786,185,146
負債純資産合計		4,821,570,934

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

		当中間計算期間 (自　平成24年 4月4日 至　平成24年10月3日)
区分	注記番号	金額
営業収益		
受取利息		441,114
有価証券売買等損益		1,007,660
派生商品取引等損益		△485,609,240
営業収益合計		△484,160,466
営業費用		
受託者報酬		989,980
委託者報酬		13,859,677
その他費用	※1	4,304,731
営業費用合計		19,154,388
営業利益又は営業損失（△）		△503,314,854
経常利益又は経常損失（△）		△503,314,854
中間純利益又は中間純損失（△）		△503,314,854
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額分配額（△）		－
期首剰余金又は期首欠損金（△）		－
中間剰余金増加額又は中間欠損金減少額		229,300,000
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		229,300,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		－
中間剰余金減少額又は中間欠損金増加額		1,239,800,000
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		－
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		1,239,800,000
分配金		－
中間剰余金又は中間欠損金（△）		△1,513,814,854

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	(1) 株価指数先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区分	当中間計算期間末 (平成24年10月3日現在)
※1 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額	期首元本額 1,300,000,000円 期中追加設定元本額 6,400,000,000円 期中解約元本額 1,400,000,000円
※2 中間計算期間末日における受益権の総数	630,000口
※3 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は1,513,814,854円であります。

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

当中間計算期間 (自 平成24年 4月4日 至 平成24年10月3日)	
※1 その他費用	主に印刷費用、上場関連費用及び監査費用等であります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	当中間計算期間末 (平成24年10月3日現在)
1.中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上額は中間期末の時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 「中間注記表（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「中間注記表（デリバティブ取引等に関係に関する注記）」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。

3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算出された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株価指数先物取引 (単位:円)

区分	種類	当中間計算期間末(平成24年10月3日現在)			
		契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	9,563,632,960	0	9,595,725,000	32,092,040
合計		9,563,632,960	0	9,595,725,000	32,092,040

(注) 1.時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2.株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3.契約額等には手数料相当額を含んでおります。

4.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

当中間計算期間末 (平成24年10月3日現在)
1口当たりの純資産額 7,597円